

それぞれの得点を、国民標準値に基づいたスコアリング (NBS: Norm-based Scoring) を用いて得点変換したものでは、全体の平均がいずれの項目も国民標準値を下回った。また項目の中で、身体機能 (PF)、身体の日常役割機能 (RP)、体の痛み (BP)、精神の日常役割機能 (RE) は特に低い項目とされた。

イギリスで行われた Garratt らの調査では、腰痛のある人は PF、RP、BP の平均スコアが国民の平均スコアと比較すると、スコアが半分以下だったと報告している¹⁸⁾。また森戸ら¹³⁾の調査でも、鍼治療を受療した患者の QOL は低く、中でも BP は最も低値 (39.88 ± 17.37) を示し、患者の多くは痛みを強く訴えて鍼治療を受療したと推察されている。

今回の調査結果からは、鍼灸治療を受けている症状では腰痛が最も多く、また EuroQol の Tariff スコアでも痛み不快感の項目で「中程度の痛みや不快感がある」と回答した患者の割合が高値であったこと、SF-36 の下位尺度で身体機能 (PF)、身体の日常役割機能 (RP)、体の痛み (BP)、精神の日常役割機能 (RE) が特に低い項目であったことを踏まえると、今回の調査施設での鍼灸治療における患者の健康状態を検討できたと考えられた。

また、EuroQol、SF-36 の各評価項目と総合的満足度との相関関係が低く、さらに重回帰分析においても、EuroQol 及び SF-36 が満足度に影響を与える要因として挙げられなかったことについては、調査人数が少数であったことが考えられた。さらに、対象患者の中には、総合的満足度 (VAS 値) が高値を示しているにもかかわらず、EuroQol もしくは SF-36 が低値を示していた場合もあり、総合的満足度と健康状態の間にデータの解離が認められた事が要因として考えられた。

3. 鍼灸治療の症状について

鍼灸治療で受けている症状の部位・領域別の結果では、腰・背部の症状が最も高く、膝・足の症状、肩の症状、首の症状の順に高い割合で、運動器系愁

訴が関連する部位・領域であった。これは Yamashita ら¹⁹⁾の調査で運動器系症状が 79.1% と高かった結果と同じ傾向であった。

また、症状の詳細の回答結果でも、腰痛が最も高く、肩のこり、首のこり、膝痛の順で、運動器系愁訴が上位を占めており、これは高野ら⁴⁾の報告と概ね一致しており、運動器系愁訴が依然として鍼灸の治療対象の高い割合を占めていることが示唆された。平成 19 年国民生活基礎調査²⁾でも総年齢での有訴者率の上位 2 症状は、男性・女性ともに腰痛、肩こりであり、鍼灸受診の上位症状と同じ傾向がみられた。しかし一方で鍼灸治療では、便秘、冷え、目の疲れといった症状が 20% 以上と比較的高く、その他に目のかすみ、不眠、頻尿、耳鳴りといった症状が認められ、他の医療機関の受診有無が二極化したことから、鍼灸の治療対象症状は広く、患者が鍼灸医療と現代医学を使い分けている、もしくは現代医学があまり積極的に治療対象としないものに鍼灸治療を求めている可能性が考えられた。

4. 鍼灸治療での患者-施術者関係

今回調査した患者-施術者関係についての質問内容では、いずれの内容でも評価は高く、先生との話しやすさの質問項目以外での否定的な意見は見られなかった。高野ら⁴⁾の調査では、満足度と信頼度について相関が高く、満足度に影響を与えているという結果が出ていることから、今回、患者-施術者関係をより詳細にした質問項目 (顔を見て話を聞いてくれたか、先生との距離、言葉遣い、うなずき・相づち、訴えの確認、話を聞いてくれる時間、話しやすさ、説明のわかりやすさ、状態についての説明の時間、訴えの理解度、コミュニケーション、信頼度) と満足度について検討した。その結果、満足度が高いものの順に、先生への信頼、症状の話しやすさ、コミュニケーションが挙げられた。

前田²⁰⁾²¹⁾らは、「患者中心の医療を実践するには、患者-医師間の良好なコミュニケーションを土

台として信頼関係をつくることである」と報告しており、「話がしやすい雰囲気がある」、「病気や治療について十分な説明をしてくれる」、「患者の症状をよく聴いてくれる」、「患者の気持ちを大切にする」と言ったコミュニケーションを大切にする医師を望んでいることが判っている。また青木らも関節リウマチ患者を対象としたアンケート調査を行い、その中で患者満足度に影響する因子は「医師は患者の悩みや相談に十分に応じている」、「視線を合わせて話をする」、「診察の終わりに他に何かありませんかと尋ねてくれる」、「医師の説明を十分に理解している」であると報告している²²⁾。

本調査で満足度との相関関係が認められた、先生への信頼、先生との話しやすさ、コミュニケーションの質問内容は、患者-施術者関係を築く上で必須であるとされており²¹⁾、結果からは、良い患者-施術者関係が築かれていることが考えられた。一方、本調査の質問内容についての、話を聞く時間、説明のわかりやすさ、状態の説明時間、訴えの確認の項目は、満足度との相関が高くなく、前田²⁰⁾や青木ら²²⁾の報告では患者満足度に関わる項目として抽出されているが、本調査では対象人数も少ないため、今後は、調査人数と規模を広げ、さらにより精度の高い調査を実施することが必要と考えられた。

5. 鍼灸治療の環境について

環境について、トイレの清潔度合い、鍼を刺す部位の消毒、施術者の手指の消毒以外での質問内容で、「清潔にしてほしい」または「丁寧に消毒してほしい」という改善を求める回答は見られなかった。また、鍼の種類についての調査内容を除いた、満足度と環境についての相関関係は、「総合的な衛生管理」、「ベッドまわりの清潔さ」に弱い相関が認められた。新原ら²³⁾は全国の鍼灸院を対象として、衛生管理について調査を行った結果、施術部位についての消毒はほぼ行われているものの、手の消毒については患者毎の手指消毒の実施については 54.9%、ま

た、使用している鍼についてはディスポーザブル鍼の単独使用は 32.7%と報告している。今回調査を行った 2 施設については、学生の実習施設であるという観点から、枕カバーやタオル、ベッドシーツの患者ごとの取り替え、鍼のディスポーザブル鍼の単独使用、施術者の手指の消毒や施術部位の消毒等が徹底されている。このことから、今回の調査施設での衛生面については高い評価が得られたと考えられた。しかし、満足度との相関が弱いことから、調査人数と調査施設数が少ないことが考えられるため、調査施設数と調査人数の拡大をし、全国的な調査を実施する必要性が考えられる。

6. 鍼灸への期待について

鍼灸への期待については、鍼灸受診前では、100mm を最高値とする VAS での評価の平均が $77.6 \pm 19.3\text{mm}$ であった。しかし、これからも鍼灸治療を受けてみようと思うかについては、98.8%と大半が「はい」と回答していることから、鍼灸治療を受ける前に期待が低い患者でも、治療後には継続を考える患者がいると推察される。しかし、67%が 1 年以上鍼灸治療を継続している対象者にアンケートを行ったため、必然的に「はい」が多く回答されたと考えられた。

また、現在の鍼灸治療に期待しているものについては、病気の治癒と症状の軽減が合わせて 8 割以上を占め、病気の予防（健康維持）についても 12 名（14.5%）の回答が得られたことから、症状や病気に対する治療効果があったこと、治療後の予防や維持の手段としていることが考えられた。

少数な回答として、健康増進、コミュニケーション、日常生活の向上といった項目が挙げられたことから、他の医療ではあまり扱わないニーズを期待して鍼灸を受診している患者がいることが示された。

7. 総合的な満足度について

総合的な満足度は、評価を3種類（VAS、カテゴリカルスケール、フェイススケール）用い、その結果を信頼性分析にて同一質問内容として使用できるかを検討し、その中からVASを各項目との比較に用いた。その結果、Standardized Item alphaが0.79となり、3種類での評価は信頼性が認められ、同一の内容であることが示された。満足度の評価では、最高を100mmとしたVASの全体の平均は 81.8 ± 14.9 mmと高く、高野ら⁴⁾の同一方法（VAS）での結果の平均（ 81.4 ± 13.8 mm）とほぼ同じ値であった。このことから、鍼灸への満足度が依然として高いことを示しており、医療の質を論ずる上で満足度の評価は不可欠である^{21) 24)}という観点から、鍼灸医療は質の高い医療であるものと考えられた。

また、鍼灸医療の満足度が高いという質の高さがどのような要因からなっているのかを分析することは、鍼灸の治療以外の特色を考察する上で重要であるため、今回は満足度に影響を与える要因を抽出するために、各質問項目と満足度について相関関係を検討し、強制投入法による重回帰分析を行った。相関関係の結果からは、相関が認められたものは、効果、先生への信頼、コミュニケーション、症状の話しやすさであった。また、強制投入法による重回帰分析では、多重共線性を示すVIFの値(>10)項目は除き解析を行った結果、満足度に対して影響を表すベータ値が高い項目として、効果、Euroqol、SF-36の下位尺度であるRE（精神の日常役割機能）、話を聞く時間が示された。高野ら⁴⁾の調査では、満足度に最も影響を与える要因として治療効果が挙げられ、日本および他国での病院の満足度調査でも、治療効果について満足度と強く関係していると報告されている^{25) 26)}。今回の結果でも、治療効果が満足度に最も影響を与える要因として挙げられていることから、鍼灸受療患者の満足度の要因として治療効果が深く関わっているということが示唆された。鍼灸治療では患者に対して、患者の訴え（問診）、身体反応（切診、触診等）を特に重視し、

時間をかけて患者の症状を検討していく。そのため施術者は、特に患者からの訴えを聞くためのスキルが求められ、患者が話をしやすい雰囲気と施術者の姿勢を示さなければならない。今回、満足度と相関の認められた項目の中に、先生への信頼度、コミュニケーション、症状の話しやすさがあり、患者側から見て鍼灸師は、信頼をおくことができ、話をしやすい存在になりうるということ、しかしその良悪によって鍼灸受診の満足度が影響される可能性が考えられた。その他に、SF-36の下位尺度であるRE（精神の日常役割機能）を構成している質問内容は、「仕事・ふだんの活動が精神的にどのようなだったか」を聞く内容であることから、今回の結果からは、日常生活における精神的側面が満足度に反映されていることが示唆された。

本調査では、施設の数や地域、患者の数や年齢層などが限定的になり、全国的な実態調査には至らなかった。今後は、調査規模を全国に広げ鍼灸医療の現状を明らかにし、最終目的である日常生活、学習、就労による自立を目指す中途視覚障害者の筆記行動を促進、中途視覚障害者向け医療コミュニケーション訓練教材の開発につなげることが必要であると考えられる。

E. 結 論

授業時に筆記行動が見られない理療教育在籍者を対象に、文字入力システムを導入する教育プログラム作成するために、実際に鍼灸治療施設来院患者を対象に「良好な医療面接の要素分析」「鍼灸等臨床時の筆記行動」などに関するアンケート調査を実施した。

今回対象となった患者の健康状態は、Tariffスコア(EuroQol)は平均 0.72 ± 0.14 であり、鍼灸治療の対象症状では、腰・背部が最も多く、次いで膝・足、肩、首の順であった。施術者に対する信頼度と満足度については、先生への信頼、症状の話しやすさ、コミュニケーションが認められた。また、筆記の代

わりに録音する事に同意できるかの質問では、「できる」が 51.2%、「できない」が 14.6%、「わからない」が 34.2%であった。

今後は、調査規模を全国に広げ鍼灸医療の現状を明らかにし、最終目的である日常生活、学習、就労による自立を目指す中途視覚障害者の筆記行動を促進、中途視覚障害者向け医療コミュニケーション訓練教材の開発につなげることが必要であると考ええる。

参考文献

- 1) 総務省統計局：人口統計月報
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/201002pdf>
- 2) 厚生労働省：平成 19 年国民生活基礎調査の概況
- 3) 矢野忠、石崎直人、川喜田健司、丹沢章八：国民に広く鍼灸医療を利用してもらうためには、今、鍼灸界は何をしなければならないのかー鍼灸医療に関するアンケート調査からの一考察ーその 5. 医道の日本. 2006 ; 750 : 149-158
- 4) 高野道代、福田文彦、石崎直人、矢野忠：鍼灸院通院患者の鍼灸医療に対する満足度に関する横断研究. 全日本鍼灸学会雑誌. 2002;52(5). 0562-574
- 5) 日本語版 EuroQol 開発委員会：日本語版 Euroqol の開発. 医療と社会 8 (1) : p109-123、1998
- 6) Ikeda S, Ikegami N on behalf of the Japanese EuroQol Tariff Project: Health status in Japanese population; Result from Japanese EuroQol Study. 医療と社会 9 (3) : p83-92、1999
- 7) 池上直己、福原俊一、下妻晃二郎、池田俊也編集：臨床のための QOL 評価ハンドブック. 医学書院：東京 2001
- 8) Fukuhara S, Bito S, Green J, Hisa A, and Kurokawa K: Translation, adaptation, and validation of the SF-36 Health Survey for use in Japan. Journal of Clinical Epidemiology, 51,11,1037-1044,1998
- 9) Fukuhara S, Ware JE, Kosinski M, Wada S, Gandek B: Psychometric and clinical tests of validity of the Japanese SF-36 Health survey. Journal of Clinical Epidemiology ,51,11,1045-1053,1998
- 10) 福原俊一、鈴鴨よしみ：SF-36v2 日本語版マニュアル. NPO 健康医療評価研究機構. 2004
- 11) 福原俊一：MOS Short-Form 36-Item Health Survey：新しい患者立脚型健康指標. 厚生 の 指 標 第 46 巻 第 4 号 : p40-45、1999
- 12) 内閣府大臣官房政府広報室編：平成 18 年度世論調査年鑑ー全国世論調査の現況ー独立行政法人 国立印刷局：東京 2007
- 13) 森戸麻美、菅原正秋、吉川恵士：鍼治療を受療する患者における健康関連 QOL 評価. 日温気物医誌第 67 巻 3 号 : p179-183、2004
- 14) 田口玲奈、安田祐子、福田文彦、今井賢治、北小路博司、矢野忠：受療者からみた明治国際医療大学附属鍼灸センター利用に関する評価. 明治国際医療大学誌 3 号 : 15-23、2010
- 15) 廣正基、芳野温、江川雅人、越智秀樹、岩昌宏、片山憲史、矢野忠：明治鍼灸大学附属京都駅前鍼灸センターにおける患者の実態報告. 明治鍼灸医学第 38 号 : p9-18、2006
- 16) 縄田成毅、山田ゆかり、池田俊也、池上直己：高齢者における EuroQol の研究 IADL 等の要因と関連についての検討. 医療と社会 10 (2) : 75-86、2000
- 17) 藤田麻里、林恭平、小笹晃太郎、渡邊能行、濱島ちさと：基本健康診査受診者を対象とした QOL 調査ーEuroQol EQ-5D を用いてー. 厚生 の 指 標 第 48 巻 第 8 号 : p22-27、2001
- 18) Garratt AM, Ruta DA, Abdalla MI, et al: The

SF-36 health survey questionnaire: an outcome measure suitable for routine use within the NHS? . BMJ 1993 ;306 :1440-1444

Quality in Health Care 2006; Vol.18 No.4; 275-280

- 19) Yamashita H, Tsukayama H, Sugishita C: Popularity of complementary and alternative medicine in Japan: a telephone survey. Complement Ther Med: 10; 2002. 84-93

- 20) 前田泉：患者満足度とコミュニケーション・スキル. プライマリ・ケア 27 巻 2 号: p99-106、2004

- 21) 前田泉、徳田茂二：患者満足度-コミュニケーションと受療行動のダイナミズム-. 日本評論社：東京、2003

- 22) 青木昭子、須田昭子、岳野光洋、石ヶ坪良明、前田泉：外来患者の診療に対する満足度を高めるコミュニケーションスキル-関節リウマチ患者を対象としたアンケート調査の結果-. 日本医事新報 No.4467 : p92-95、2009

- 23) 新原寿志、村上高康、池宮秀直、西村展幸、尾崎昭弘：鍼灸における感染防止対策の現状-主に開業鍼灸師を対象としたアンケート調査-. 全日本鍼灸学会雑誌第 53 巻 3 号 : p646-657、2003

- 24) ウェンディ・リーボフ、ゲイル・スコット共著：医療の質とサービス革命「患者満足」への挑戦. 神尾友和、杉浦和朗日本語版監修：日本医療企画、東京、1999

- 25) 箕輪良行、佐藤純一：医療現場のコミュニケーション. 医学書院：東京、1999

- 26) IVY F.TSO, S.M.NG AND CECILIA L.W.CHAN: The development and validation of the Concise Outpatient Department User Satisfaction Scale. International Journal for

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

参考資料 I

健康状態と鍼灸治療に関するアンケート

I,あなたの健康状態について

以下のそれぞれの項目の1つの四角に印 $\square$ をつけて、あなた自身の今日の健康状態を最も良く表している記述を示して下さい。

移動の程度

- ・私は歩き回るのに問題はない ☐
- ・私は歩き回るのにいくらか問題がある ☐
- ・私はベッド(床)に寝たきりである ☐

身の回りの管理

- ・私は身の回りの管理に特に問題はない ☐
- ・私は洗面や着替えを自分でするのにいくらか問題がある ☐
- ・私は洗面や着替えを自分でできない ☐

普段の活動(例:仕事、勉強、家族、余暇活動)

- ・私は普段の活動を行うのに問題はない ☐
- ・私は普段の活動を行うのにいくらか問題がある ☐
- ・私は普段の生活を行う事ができない ☐

痛み/不快感

- ・私は痛みや不快感はない ☐
- ・私は中程度の痛みや不快感がある ☐
- ・私はひどい痛みや不快感がある ☐

不安/ふさぎ込み

- ・私は不安でもふさぎ込んでもいない ☐
- ・私は中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる ☐
- ・私はひどく不安あるいはふさぎ込んでいる ☐

過去12ヶ月間にわたる自分の一般的な健康水準と比べて、
私の今日の健康状態は

- ・より良い ☐
- ・ほとんど同じ ☐
- ・より悪い ☐

健康状態がどのくらい良いか悪いかを表わしてもらうために、
(温度計に似たような)目盛を描きました。目盛には、あなたの
想像できる最も良い状態として100、あなたの想像できる最も悪
い状態として0が付けられています。

あなたの今日の健康状態がどのくらい良いか悪いかを、あなた
の考えでこの目盛上に示して下さい。下の「あなたの今日の健
康状態」と書かれた四角から、あなたの今日の健康状態の良し
悪しを示す目盛上の点まで、線を引いて下さい。

あなたの
今日の
健康状態

上の四角から右の目盛に向かって
線を引っ張って下さい。

想像できる
最も良い
健康状態

100

90

80

70

60

50

40

30

20

10

0

想像できる
最も悪い
健康状態

以下のそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものの□にレ印をつけてください。

問 1 あなたの健康状態は？（一番よくあてはまるものにレ印をつけて下さい）

最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない
▼	▼	▼	▼	▼
□	□	□	□	□

問2 1 年前と比べて現在の健康状態はいかがですか。

（一番よく当てはまるものにレ印をつけてください）

最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない
▼	▼	▼	▼	▼
□	□	□	□	□

問3 以下の質問は、日常よく行われる活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動することがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。

（ア～コまでのそれぞれの質問について一番よくあてはまるものにレ印をつけて下さい）

	とても むずかしい	少し むずかしい	ぜんぜん むずかしく ない
	▼	▼	▼
ア) <u>激しい運動</u> 、例えば、一生けんめい走る、重いものを持ち上げる、激しいスポーツをするなど	□	□	□
イ) <u>適度の活動</u> 、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩をするなど	□	□	□
ウ) 少し重い物を持ち上げたり、運んだりする(例えば買い物袋など)	□	□	□
エ) 階段を <u>数階上</u> までのぼる	□	□	□
オ) 階段を <u>1階上</u> までのぼる	□	□	□
カ) 体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ	□	□	□
キ) <u>1キロメートル以上</u> 歩く	□	□	□
ク) <u>数百メートルくらい</u> 歩く	□	□	□
ケ) <u>百メートルくらい</u> 歩く	□	□	□
コ) 自分でお風呂に入ったり、着替えたりする	□	□	□

問4 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動(家事などの)をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。(ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものにレ印をつけてください。)

	いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
	▼	▼	▼	▼	▼
ア) 仕事やふだんの活動を する <u>時間</u> をへらした	☐	☐	☐	☐	☐
イ) 仕事やふだんの活動が 思ったほど <u>できなかつた</u>	☐	☐	☐	☐	☐
ウ) 仕事やふだんの活動の <u>内容</u> によっては、できないもの があった	☐	☐	☐	☐	☐
エ) 仕事やふだんの活動の内容 をすることが <u>むずかしかつた</u> (例えばいつもより努力を必要 としたなど)	☐	☐	☐	☐	☐

問5 過去1ヵ月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、心理的な理由で(例えば、気分がおちこ
んだり不安を感じたりしたために)、次のような問題がありましたか。(ア～ウまでのそれぞれの質問について、
一番よくあてはまるものにレ印をつけて下さい)

	いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
	▼	▼	▼	▼	▼
ア) 仕事やふだんの活動をする <u>時間</u> をへらした	☐	☐	☐	☐	☐
イ) 仕事やふだんの活動が思った ほど、 <u>できなかつた</u>	☐	☐	☐	☐	☐
ウ) 仕事やふだんの活動がいつも ほど <u>集中して</u> できなかつた	☐	☐	☐	☐	☐

問6 過去1ヵ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

(一番よくあてはまるものにレ印をつけてください)

ぜんぜん、 妨げられなかった	わずかに、 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	非常に、 妨げられた
▼	▼	▼	▼	▼
☐	☐	☐	☐	☐

問7 過去1ヵ月に、体の痛みをどのくらい感じましたか。

(一番よくあてはまるものにレ印をつけて下さい)

ぜんぜん なかった	かすかな 痛み	軽い 痛み	中くらいの 痛み	強い 痛み	非常に激しい 痛み
▼	▼	▼	▼	▼	▼
☐	☐	☐	☐	☐	☐

問8 過去1ヵ月間に、いつもの仕事(家事も含みます)が痛みのために、どのくらい妨げられましたか。

(一番よくあてはまるものにレ印をつけて下さい)

ぜんぜん、 妨げられなかった	わずかに、 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	非常に、 妨げられた
▼	▼	▼	▼	▼
☐	☐	☐	☐	☐

問9 次にあげるのは、過去1ヵ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です
(アークまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものにレ印をつけて下さい)

	いつも ▼	ほとんど いつも ▼	ときどき ▼	まれに ▼	ぜんぜん ない ▼
ア) 元気いっぱいでしたか	☐	☐	☐	☐	☐
イ) かなり神経質でしたか	☐	☐	☐	☐	☐
ウ) どうにもならないくらい、 気分がおちこんでいましたか	☐	☐	☐	☐	☐
エ) おちついていて、 おだやかな気分でしたか	☐	☐	☐	☐	☐
オ) 活力(エネルギー)に あふれていましたか	☐	☐	☐	☐	☐
カ) おちこんで、ゆううつな 気分でしたか	☐	☐	☐	☐	☐
キ) 疲れはてていましたか	☐	☐	☐	☐	☐
ク) 楽しい気分でしたか	☐	☐	☐	☐	☐
ケ) 疲れを感じましたか	☐	☐	☐	☐	☐

問10 過去1ヵ月間に、友人や親せきを尋ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、時間的にどのくらい妨げられましたか。
(一番よくあてあまるものにレ印をつけて下さい)

いつも ▼	ほとんど いつも ▼	ときどき ▼	まれに ▼	ぜんぜん ない ▼
☐	☐	☐	☐	☐

問11 次にあげた各項目はどのくらいあなたにあてはまりますか。(ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものにレ印をつけて下さい)

	まったく そのとおり	ほぼ あてはまる	何とも 言えない	ほとんど あてはまら ない	ぜんぜん あてはまら ない
	▼	▼	▼	▼	▼
ア) 私は他の人に 比べて病気に なりやすいと 思う	☐	☐	☐	☐	☐
イ) 私は、人並み に健康である	☐	☐	☐	☐	☐
ウ) 私の健康は、 悪くなるよう な気がする	☐	☐	☐	☐	☐
エ) 私の健康状態 は非常に良い	☐	☐	☐	☐	☐

Ⅱあなたの鍼灸治療状況全般について

1、あなたが鍼灸治療院で現在受けられている症状はどれですか？

記入例に従って○を付けて下さい。(次の中からいくつ選んでも結構です)

記入例

①)手の症状

手のしびれ・手の痛み・手の関節が痛む・手の動きが悪い・その他(手のむくみ)

1)手の症状

手のしびれ・手の痛み・手の関節が痛む・手の動きが悪い・その他()

2)首の症状

首のこり・首の痛み・その他()

3)肩の症状

肩のこり・肩の痛み・その他()

4)腰・背部の症状

腰痛・背部痛・おしりの痛み・その他()

5)膝・足の症状

膝痛・足のしびれ・足の痛み・足の関節が痛む・足の動きが悪い・その他()

6)耳の症状

耳鳴り・難聴・その他()

7)目の症状

目の疲れ・目のかすみ・その他()

8)鼻の症状

鼻汁が出る・鼻がつまる・その他()

9)便通の症状

便秘・下痢・便秘と下痢を繰り返す・その他()

10)排尿の症状

頻尿・排尿の切れが悪い・尿漏れ・尿失禁・その他()

11)自律神経の症状

頭痛・疲労倦怠感・不眠・物忘れ・体がだるい・イライラする・冷え・のぼせ・

冷えのぼせ・その他()

12)呼吸器の症状

咳や痰がつまる・息苦しい・その他()

13)婦人科の症状

生理異常・生理不順・生理痛・不妊・その他()

14)上記以外の症状()

2、あなたは鍼灸治療院で現在受けられている症状について、他の医療機関を受診されていますか？（○は1つのみ）

- 1) はい
- 2) いいえ

“はい”と答えられた方は、鍼灸を受けている症状と、その症状での他の医療機関の受診について、記入例になら
ってお書き下さい。

ここに記入して下さい



記入例	症状	他の科（鍼灸以外の医療機関）
	腰痛	整形外科

鍼灸を受けている症状	他の科（鍼灸以外の医療機関）

3、あなたはこの鍼灸治療院に通われるようになってどのくらいですか？

（1つを選び○をつけ、下線部に当てはまる数字を記入して下さい）

- 1) 今日が初めて
- 2) __週間ぐらい
- 3) __ヶ月ぐらい
- 4) __年ぐらい

4、あなたはどのくらいの割合でこの鍼灸治療院に通院していますか？

（1つを選び○をつけ、下線部に当てはまる数字を記入して下さい）

- 1) 今日が初めて
- 2) __週間に__回
- 3) __ヶ月に__回
- 4) __年に__回

鍼灸治療の受診について

担当の鍼灸師とあなたが症状などについて会話するときのことをお答えください。

5、先生はあなたの顔を見て話を聞いてくれましたか？

(○は1つのみ)

- 1) 全く見てくれなかった
- 2) ほとんど見てくれなかった
- 3) 少し見てくれた
- 4) かなり見てくれた
- 5) 十分に見てくれた

6、先生と会話をする時の先生とあなたの距離はどのように思いますか？

(○は1つのみ)

- 1) ぜんぜん良くない
- 2) 良くない
- 3) まあまあ
- 4) 良い
- 5) とても良い

7、先生の言葉遣いはどうでしたか？

(○は1つのみ)

- 1) ぜんぜん良くない
- 2) 良くない
- 3) まあまあ
- 4) 良い
- 5) とても良い

8、先生は、あなたの訴えに「うなずき」や「相づち」をしてくれましたか？

(○は1つのみ)

- 1) 全くしてくれなかった
- 2) ほとんどしてくれなかった
- 3) ときどきしてくれた
- 4) ほとんどいつもしてくれた
- 5) いつもしてくれた

9、先生は、あなたの訴えを繰り返し確認してくれましたか？

(○は1つのみ)

- 1) 全く確認してくれなかった
- 2) ほとんど確認してくれなかった
- 3) 少し確認してくれた
- 4) かなり確認してくれた
- 5) 十分に確認してくれた

10、先生は、あなたの話を聞いてくれるのに十分な時間を取ってくれましたか？

(○は1つのみ)

- 1) 全く取ってくれなかった
- 2) ほとんど取ってくれなかった
- 3) 少し取ってくれた
- 4) かなり取ってくれた
- 5) 十分に取ってくれた

11、先生にあなたの症状のことを話しやすかったですか？

(○は1つのみ)

- 1) とても話しづらかった
- 2) かなり話しづらかった
- 3) 少し話しやすかった
- 4) かなり話しやすかった
- 5) とても話しやすかった

12、先生から受けた説明は、あなたにとってわかりやすかったですか？

(○は1つのみ)

- 1) 全く分からなかった
- 2) ほとんど分からなかった
- 3) 少し分かった
- 4) ほとんど分かった
- 5) 完全に分かった

VAS(バイ・エイ・エス)の記入方法

×

誤った記入例

先生とのコミュニケーションに対する満足度

全く満足していない

完全に満足している

線の上に○印を記入してしまう

線の外に記入してしまう

○

正しい記入例

先生とのコミュニケーションに対する満足度

全く満足していない

完全に満足している

17、あなたは先生とのコミュニケーションに満足していますか？

線の左端を全く満足していない、右端を完全に満足しているとして、記入例に従って、先生とのコミュニケーションに対してあなたが思う線の上に×印を付けて下さい。

ここに記入して下さい

先生とのコミュニケーションに対する満足度

全く満足していない

完全に満足している

18、あなたは先生をどのくらい信頼していますか？

線の左端を全く信頼していない、右端を完全に信頼しているとして、記入例に従って、先生に対する信頼度についてあなたが思う線の上に×印を付けて下さい。

ここに記入して下さい



記入例	-----先生に対する信頼度-----	
全く信頼していない	×	完全に信頼している

	-----先生に対する信頼度-----	
全く 信頼していない		完全に 信頼している

☆鍼灸治療の診察について何か思うところがあればお書き下さい。

鍼灸治療費及びあなたの経済状況について

19、あなたはここでの鍼灸治療を健康保険で受けていますか？

(○は1つのみ)

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) 分からない

20、あなたが鍼灸治療を受けて払う1回の治療費の平均はいくらぐらいですか？

(○は1つのみ)

- 1) 0～1000 円
- 2) 1001～2000 円
- 3) 2001～3000 円
- 4) 3001～4000 円
- 5) 4001～5000 円
- 6) 5001 円以上
- 7) 分からない

21、現在受けている鍼灸治療に対してこの治療費はどう思いますか？

(○は1つのみ)

- 1) もっと安い方が良いと思う
- 2) もう少し安くても良いと思う
- 3) これでよい
- 4) もう少し高くても良いと思う
- 5) もっと高くしても価値があると思う

☆一般に鍼灸治療費について何か思うところがあればお書き下さい。